

主催者屋外展示（「相沢川」）について

2027年国際園芸博覧会協会

● 「相沢川」とは

「相沢川」は、GREENXEXPO2027会場となる旧上瀬谷通信施設内を流れる相沢川とその沿川にある農地です。会場ゲートのすぐ近くに位置します。

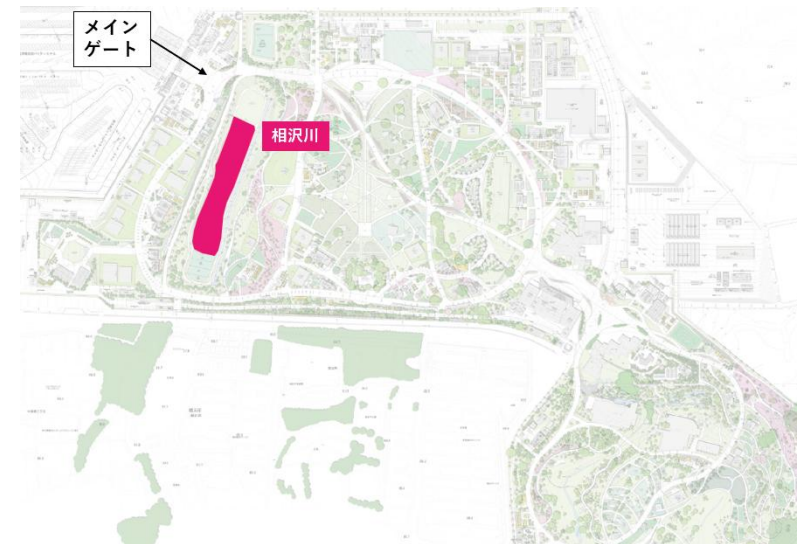
長年にわたり土地利用が制限されたため、豊かな自然環境が広がる旧上瀬谷通信施設では現在、横浜市がその特性を生かした土地区画整理事業、公園整備事業を実施しています。同事業において「相沢川」は、自然資本として将来の公園において継承されていきます。博覧会で耕作している農地を再現し、田畑のある谷戸景観として博覧会終了後も引き継ぐのは、国内の博覧会として初めてのことです。

● 「相沢川」での農の展示

自然の働きで形成された谷戸地形等を生かし、長い間営農が行われてきた「相沢川」は、博覧会のテーマを象徴する場所の一つであり、会期中は自然と共生した持続可能な農の営みを表現します。

同時に、時の経過とともに変化する景観を楽しんでいただくとともに、日本有数の大都市、横浜市にある農地（グリーンインフラ）として、都市の農の価値、農と食のつながりなどを伝える、有人ガイドによる解説、体験ワークショップ（WS）などを計画しています。

「相沢川」の位置



「相沢川」の景観（イメージ）

「相沢川」の植栽計画（案）について

「相沢川」では景観の変化を楽しみつつ、食や暮らしに関わる作物を栽培します。

【会期中の主な見どころ】

最も北にある畑では染料の原料となる紅花を栽培。その後は赤ソバで畑を彩ります。



5～6月 紅花



8～9月 満開の赤ソバ

その隣の畑では、レンゲを栽培。会期始めの畑をピンクのじゅうたんの様に彩ります。その後は綿花畑にします。



3～4月 レンゲ



7～9月 綿の花

残りの2枚の畑では、小麦を栽培。5月には麦秋を迎えます。その後はヒマワリを栽培。8～9月に満開を迎えます。



3～4月 小麦の出穂



5月 小麦の麦秋



8～9月 満開のヒマワリ

水田では、レンゲを栽培し、会期始めの水田をピンクのじゅうたんの様に彩ります。



3～4月 レンゲ

その後、水を張り5月に水稻を植え、会期終わりに実りの秋を迎えます。



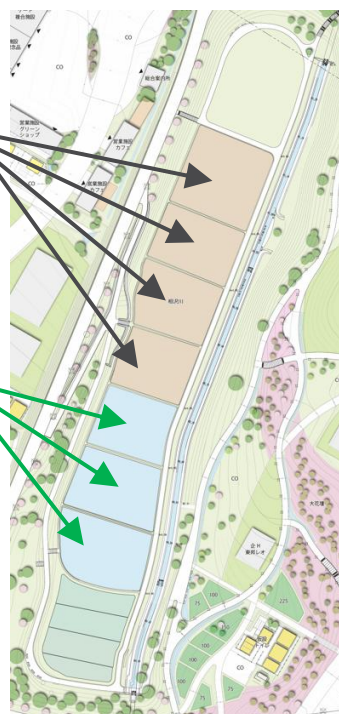
5～8月 生育中の水稻



9月 収穫間近の水稻

品種はJA全農営農・技術センター（神奈川県平塚市）が育成した「はるみ」。神奈川県奨励品種です。

「相沢川」



畑
4枚

水田
3枚

畑・水田の1枚の
大きさは約1000㎡

「相沢川」 作付けスケジュール（案）

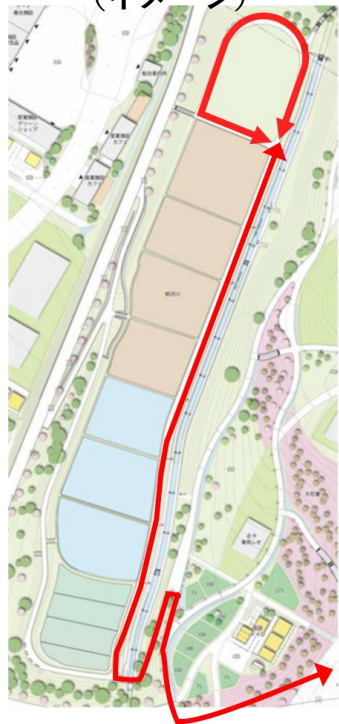
北	播種	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
畑1	紅花 ベニバナ 蕎麦 ソバ	10月	中耕・手取り除草						開花・収穫			刈取・鋤込耕耘			播種	間引き	開花						
畑2	蓮華 レンゲ 綿 ワタ	11/上	開花			鋤込耕耘			ポット苗植付			中耕・手取り除草			開花								
畑3	小麦 コムギ 向日葵 ヒマワリ	11月	2月麦跡			出穂			麦秋			刈取・鋤込耕耘			播種			開花			収穫		
畑4	小麦 コムギ 向日葵 ヒマワリ	11月	2月麦跡			出穂			麦秋			刈取・鋤込耕耘			播種			開花			WS 収穫		
田1	蓮華 レンゲ 水田 イネ	10/上	開花			鋤込耕耘・腐熟期間			田植	中干			追肥			落水			収穫				
田2	蓮華 レンゲ 水田 イネ	10/上	開花			鋤込耕耘・腐熟期間			田植	中干			追肥			落水			収穫				
田3	蓮華 レンゲ 水田 イネ	10/上	開花			鋤込耕耘・腐熟期間			田植	中干			追肥			落水			収穫				
南																							

来場者参加型プログラム（体験WS・ガイドツアー）（案）について

「相沢川」は、博覧会場の中で「農業のリアル」を伝える場所です。来場者が「農に親しみ、“農と食のつながり”、農がつくる“暮らし”を知る。」ために、年間の作付け計画に沿って、季節の景観を楽しみつつ、農地、作物、水辺環境、生き物を含む持続可能な農の営み、生物多様性を五感で体感できるプログラムを検討しています。



プログラムのルート
(イメージ)



プログラムのスケジュール
(イメージ)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
畑① ペニバナ そば	色をつくり、文化をつくるペニバナのヒミツ			そばができるものがたり			
畑② レンゲ 綿	れんげパワーのヒミツ		苗植え	Tシャツができるものがたり			
畑③④ 小麦 ヒマワリ	うどん(パン)ができるものがたり			ひまわりバイオマスができるものがたり			
水田①②③ レンゲ 水田	れんげパワーのヒミツ		ご飯茶碗1杯のごはんができるものがたり				
	花摘み+ はちみつ	花摘み+ はちみつ	どろんこ しろかき	田植え	どろんこ 草とり	いきもの 観察	収穫+ 油しぼり

※会期中は、来場者が普段は目にする事のない先進的な農業機械の展示・実演も検討中

※来場者参加型プログラムは、企業・団体の協力を得て開催予定
現時点でJAグループ神奈川のほか、農業・食品分野の企業数社が協力予定

プログラム
(5月)
のイメージ



茶碗一杯のごはんができる物語をクイズ形式で解説



うどん(パン)ができる物語をクイズ形式で解説



紅花のサシェづくり体験WS

○本博覧会に対する方針

本博覧会は花や緑に加えて食や農を対象とし、かつ、神奈川県内で開催されます。J Aグループ神奈川は、本博覧会を「食」「農業」「J A」に対する理解情勢を図る好機と捉え、J Aグループの一員として、また、神奈川県をはじめとする地元行政等の関係機関と連携して、本博覧会に積極的に関与していきます。



○屋外展示（「相沢川」）への参画

J Aグループ神奈川は、博覧会協会が行う「相沢川」の水田・畑の管理、体験WS等に、協賛者として参画します。本年5月19日付けで博覧会協会と協賛契約を締結しました。現在、博覧会協会とともに、水田・畑の管理体制・工程などの具体化の検討を進めています。

J Aグループ神奈川の協賛内容

水田・畑の管理に必要な物品・役務を無償で提供

○水田の管理

資材：たい肥、有機肥料、種苗（レンゲ、水稻）

役務：耕うん、たい肥等の散布、種苗のは種（移植）、除草、水管理、米の収穫・乾燥調製等

○畑の管理

資材：たい肥、有機肥料、種子（小麦、ヒマワリ）

役務：耕うん、たい肥等の散布、小麦・ひまわりのは種・除草、小麦の収穫・乾燥調製等

※今後さらに体験WS等への役務協賛を追加の予定